

平成24年10月

川内港港湾計画変更に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、川内港港町地区に整備が計画されている定期旅客船の係留施設に係る船舶航行の安全性について調査検討し、必要な安全対策をとりまとめた。

具体的には、予め委員会に備えて事前に実施された計画海域及びその周辺海域における通航船舶の実態調査等をもとに、同海域における航行環境等を把握し、就航が予定されている旅客船の入出港経路と回頭水域について調査するとともに、計画施設への着離棧操船等の安全性について総合的に検討した。

検討した結果、本計画については航行安全上特に支障となる問題はないとの結論を得たが、同港町地区の小型船舶だまり及び港奥部の船間島地区に出入する漁船、プレジャーボート及び1,000DWT級貨物船との水域利用の競合、南防波堤及び西防波堤付近海域での大型船との行き会いが懸念されることから、旅客船の係留施設前面の回頭水域における水域の利用調整を行う必要があること、前述の防波堤付近海域における10,000GT以上の船舶の動静に注意し、同船との行き会いを回避する必要があること等、運用上の対応策を提言した。

2 調査等概要

- (1) 港湾計画変更の概要
- (2) 航行環境
- (3) 課題の整理
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策